

《公開用感染制御相談事例集(Q&A)》

相談事例 No.7

区分 感染症別の対策(ノロウイルス感染症)

【質問】

ノロウイルス感染症対策としての嘔吐物の処理方法について、夜間でスタッフが一人のときなどすぐに嘔吐物の処理ができない場合はどのようにしたらよいのでしょうか？また、嘔吐物などで汚染したリネンは洗濯をするまでの間どのように保管したらよいのでしょうか？

【回答】

すぐに嘔吐物の処理ができず、誰かが踏む、触るなどの危険性があれば新聞紙をかけておくという方法がよいと考える方もあるかもしれませんが、しかし、ノロウイルス感染症対策では、新聞紙ではなく処理道具を取りに行っていくだけ速やかに処理を行うことが重要であると考えます。嘔吐物の近くに人を近づけないようにし、マスク・ガウン・手袋を着用して患者対応を行い、終わり次第速やかに拭き取るようにされた方がよいと考えます。

また、汚染したリネンは、洗濯までの間はナイロン袋に入れて密封し、マスク・ガウン・手袋を着用して、袋から静かに取り出して洗濯するようにします。なお、汚染したリネンをすぐに処理できない場合、バケツに入れて置くのであれば、悪臭の原因や誰かが触るなどの危険性があるため、ふたをして置く必要があります。ただし、バケツを使用する場合、使用後にバケツの洗浄・消毒を行う作業に時間を費やすことや、取扱者が感染するリスクなどを考えると、ナイロン袋に入れておく方が簡便かつ安全であると思います。また、長時間バケツの中に置いたままにして吐物が乾燥すると、取り出す際にウイルスが舞い上がり塵埃感染のリスクもあるので、乾燥しない間に早めに処理をすることも重要です。